

## 改善計画書

施策番号	担当部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)	
11310	福祉部	障害福祉課	主幹	大澤 一則	042-769-8355	
施策名	自立した生活を実現するための環境づくり					
施策の目的	<p>障害者が住み慣れた地域で自らの意思により生活することができるよう、各々の状況に適したサービスを充実するとともに、就労や余暇活動の支援を行うなど、障害者の社会参加に向けた施策の推進を図る。</p> <p>「ノーマライゼーション推進・さがみはらプラン」～相模原市障害者福祉計画～に基づき、障害者に関する様々な施策を総合的、計画的に進めている。また、今年度から施行された自立支援給付制度等の円滑な運営及び障害者がライフステージにそって適切なサービスや質の高いサービスを利用できるようその整備を進めている。</p>					
これまでの取組	<p>[平成18年度]</p> <p>平成18年度から施行された自立支援給付制度の円滑な運営を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな体系による障害福祉サービスの提供 受給者数 2,788人</li> <li>・自立支援医療に係り、急激な経済負担とならないように緩和措置を実施 延べ 69件</li> <li>・障害福祉施設等の運営の安定化・適正化を図るための指導・支援を行った。</li> <li>・運営補助金対象施設数 63箇所</li> </ul> <p>障害者支援センター松が丘園において、自立生活支援や就労援助等の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・述べ利用者数 3,954人</li> </ul>					
評価結果 (平成17年度 実績評価)	1次評価	A	2次評価	B	3次評価	B
	<b>3次評価での指摘事項等及び意見</b> <b>( は行政評価検討委員会としての指摘事項・改善要望項目、 は各委員の意見)</b>					
	<p>各指標の目標値については、市民のニーズを分析した上で、目標値を掲げるべきである。各指標の目標値について、上方修正を検討すること。</p> <p>効率性を上げるために障害要因となっている課題抽出を行い、その具体的な解決策を明記すること。</p> <p>本市の地域性等を踏まえた上で、ニーズを把握し、本市なりの目標値設定を行うべきではないか。</p> <p>目標達成に向けた障害福祉課としての取組みを示してほしい。</p> <p>優先順位の高い事業から指標を導く必要があるのではないか。</p> <p>課題と解決策の欄は、現状分析を行い、明確に書くべきである。</p> <p>1次評価の結果から考えれば、効率性を高めることが課題であり、一步踏み込んだ具体的な解決策を考える必要があるのではないか。</p>					
3次評価の指摘事項を踏まえた課題整理	<p>障害者のニーズに合致した成果指標と目標値の設定を検討する必要がある。</p> <p>効率性を高めるために、事業の構成、内容、実施方法等について、さらに分析・点検する必要がある。</p>					

改善計画	改善目標及び改善時期	平成19年度中に成果指標と目標値の設定を行う。 平成19年度中に施策を構成する事業の内容、実施方法等について、分析・点検を行う。		
	具体的な改善方策	平成21年度を始期とする(新)障害者福祉計画の策定にあたって、障害者等のニーズの把握と課題抽出を目的にアンケートと福祉団体等へのヒアリングを平成19年度中に実施することとなっている。この結果を参考にしながら、成果指標と目標値の設定及び構成事業の点検を行う。		
	改善項目「成果指標と目標値の設定」	実施の時期	平成19年度末までに	
		障害福祉制度がめまぐるしく変化する中で、上記アンケートやヒアリングをとおして適確なニーズ把握や課題抽出を行い、新たな総合計画に対応した成果指標と目標値の設定を行う。国の指針により、全国統一的に設ける指標もあるため、市独自の指標と合わせ、バランスの取れた組合せとする。		
	改善項目「効率性を高めるための解決策の検討」	実施の時期	平成19年度末までに	
効率化に向け事業の点検を行い、すぐ実施できるものは平成19年度中に実施し、そうでないものは、翌年度以降の実施に向け、準備を進める。 上記アンケートやヒアリングの結果を踏まえ、優先順位を含め構成事業の点検を行い、効果的・効率的な事業実施に向けた解決策を検討する。				
改善結果	改善項目「 」	実施の時期	平成19年度末までに	
	改善目標の達成状況			
	評価及び今後の取組方針等			